家庭でできる、実験レシピ!

保 大人といっしょに!

【実験17:ジャガイモに、何が起きたのか…】

― 推奨クラス:ミドルクラス・アドバンスクラス ―

■実験の流れ

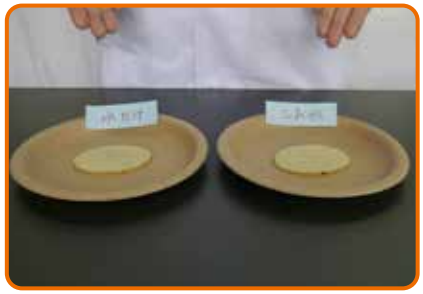
水につけたジャガイモと、塩水(しおみず)につけたジャガイモをしばらく置(お)いておくと、両者(りょうしゃ)に何かちがいが出てくるでしょうか…。

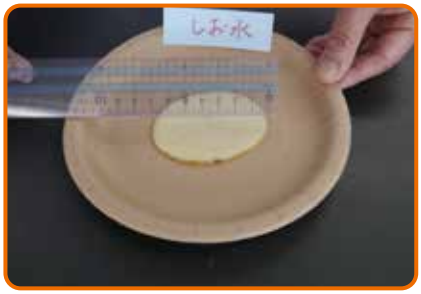
■用意するもの

ジャガイモ、水、塩、皿(さら)…2枚、じょうぎ
ほうちょう、まな板(いた)

■実験の手順

①ジャガイモをうすく2枚、切(き)ります。
②それぞれ1枚ずつ、皿に置きます。
※どちらが「水」の皿でどちらが「塩水」の皿か、わかるようにしておきます。
③それぞれのジャガイモの直径(ちょっけい)を、はかります。
④塩がとけなくなるくらいまで入れた、こい塩水を作ります。
⑤かたほうの皿には水を、もう1枚の皿にはこい塩水を、ジャガイモがひたるくらいまで入れます。
⑥30分くらいそのままにしておいてから、ジャガイモのようすを観察(かんさつ)し、直径もはかりましょう。





【実験を始める前に】

■実験を始める前に実験のやりかたをよく読(よ)んで、さいごにどうなるか、考えて(予想:よそうして)みましょう!

[　　]

【実験が終わったら】

■予想したことと、実験の結果(けっか)は同(おな)じでしたか? もしちがっていたら、その理由(りゆう)を考えましょう。

[　　]

【考えるヒント】

①スライスしたジャガイモの表面(ひょうめん)の水気をよくふきとり、そこに塩をまぶしてしばらく置いていてから、観察してみましょう。

② ①のとき、塩はだんだん水気をふくみ始めてぬれてきます。この水気は、いったいどこから来たのでしょう?